NEWS LETTER

ふたば便り Vol.21

新緑にオレンジ屋根が映える夏、紅葉する木々が美しい秋など、四季折々に美しい姿をご覧いただける文化のみち二葉館では、夏から秋にかけて様々な催しものを開催します。

10月10日～18日開催の「ステンド硝子アート&ステンドグラス作品展～和モダン～」に作品を掲示いただくK・M・Y・ステンド硝子アート協会より、副会長の藤田光子さんにお話をうかがいました。

Q、ステンドグラスとステンド硝子アートの歴史、その魅力について教えてください。

教会の窓に色ガラスをはめたのは6世紀、現在のH字型の鉛を使用するステンドグラスの技法は9世紀からと歴史は古く、ドイツで学んだ宇野澤辰雄が日本に伝えたのは明治の1890年です。

ステンド硝子アートはまだ日が浅く2001年にイギリスから入ってきた技法です。

どちらにも共通した魅力は、光を通した色の透明感と鮮やかさであり、同じ作品でも光の有無や時間や環境によって違った表情を見せてくれるということです。

Q、その技法にはどのような違いがありますか。

ステンドグラスは切った色ガラスをつなぎ合わせハンダ付けをして作品を作り上げていきますが、ステンド硝子アートは1枚のガラスに専用のフィルムとリードを貼ることでステンドグラスとよく似た作品を作ることができます。

ステンド硝子アートは火・水・電気が不要のため安全で、幅広い年齢の方にお楽しみ戴くことができ、絵を描く感覚で細かい作業をすることができます。

違いを否定するのではなく、両者共存が望ましいと思っています。

Q、当館のステンドグラスの魅力について、どうご覧になりますか。

グラフィックデザイナー杉浦非水（福沢桃介の妹の夫）のステンドグラス作品で唯一日本に現存すると言われているものが二葉館大広間にある「初夏」という作品であるということをはじめ、貞奴のトレードマークだった「流水と椛」をテーマにしたもの、桃介の電力事業の舞台となった日本アルプス（槍ヶ岳）の作品など、当時のステンドグラスを間近で見ることができる貴重な場であり、それらの作品は100年近く経った今でも「モダン」で魅力ある作品であるということです。

Q、今回の展示のコンセプトと見どころを教えてください。

「ステンドグラス」と聞くと教会の窓にあるような洋風で原色のイメージを思い浮かべられる方が多いと思いますが、貞奴や桃介が好んだような「和」のテイストを取り入れた作品や、ステンドグラスとステンド硝子アートだけにとらわれず様々な技法を取り入れたコラボ作品の数々を展示致します。

日本初のステンドグラス作家の小川三知も、杉浦非水も東京美術学校日本画科卒業の私も日本画の技法を生かしたステンドグラス作品を探求し続けています。

ステンド硝子アートとステンドグラスの両方の長所を取り入れ、更に金箔など日本画の材料や技法を加え「ステンドグラス」というイメージを脱皮し、「ステンドグラスの新しい可能性」を探り試行錯誤した作品をご覧ください。

その他には布・和紙・木など異素材とのコラボ作品も多数展示予定です。

10月10日からの作品展を楽しみにしています。ありがとうございました。

藤田光子さん

「姫きもの展」隠れた美～羽裏の世界～

「見えないところに凝る・江戸の美」にスポットをあてた作品を展示します。

■8月5日（水）～8月9日（日）
10:00～17:00（最終日は15:00まで）
■会場:2階和室1、2

「姫ちゃんちゃんこ」制作無料講習会

■8月5日（水）・8月6日（木）・8月7日（金）
■会場:1階集会室
■各日　第一回 11:00～12:00　第二回 13:30～14:30
■定員:各10名　■材料費¥1000
裁縫道具（糸、針、はさみ）をご持参ください。
※申し込み方法・受付日:7月28日（火）10:00～12:00
文化のみち二葉館へ電話申し込み　（但し重複申し込みは不可）

伝統芸能「正調名古屋甚句・端唄」無料体験講習会と日本伝統楽器「三味線」初心者無料講習会

■9月5日（土）
13:00～13:45　「正調名古屋甚句・端唄」講習会
14:00～14:45　「三味線」初心者講習会
■会場:1階集会室　■定員:各15名
※申し込み方法・受付日:8月26日（水）10:00～12:00
文化のみち二葉館へ電話申し込み

「樹光染　Twinkle fiora」

名古屋友禅の伝統工芸士・堀部満久の独自の技法「樹光染」。自然の趣が伝わる生きた柄をお楽しみください。

■9月12日（土）～9月18日（金）
10:00～17:00（最終日は15:00まで）
■会場:2階和室1、2

「阿久根治子―古事記に魅せられた女流作家」

名古屋生まれの作家・阿久根治子が遺した資料をもとに、多彩な作品とその背景について展示紹介します。

■10月7日（水）～11月11日（水）10:00～17:00
※10月13日（火）は休館日　■会場: 2階展示室5

「名古屋・愛知の昔話」

子ども・名古屋・愛知をコンセプトに、「名古屋・愛知の昔話」をご紹介します。

■10月7日（水）～11月11日（水）10:00～17:00
※10月13日（火）は休館日　■会場: 2階展示室7

トークイベント

阿久根治子の人物像や、民話・昔話についての講演、阿久根作品と昔話の朗読を行います。

■10月25日（日）13:30～15:00　■会場:1階大広間

「まるはちの日」8/8（土）

―ふたば茶屋の冷抹茶サービス―

■8月8日（土）　ナゴヤ「まるはちの日」は、二葉館1階「ふたば茶屋」にて、先着88名様に抹茶を進呈します。
■午前11時より、受付にて呈茶券を配布。なくなり次第終了。

島人（しまんちゅう）の心を唄う～琉球ポップスと楽しいトーク～

三味線のルーツ、三線（さんしん）から生まれた琉球音楽。そこから生まれた琉球ポップスをお楽しみください。

■8月8日（土）
13:30～14:30
■会場:1階大広間

2015 EVENT SCHEDULE

各イベントのお申し込み・お問い合わせは文化のみち二葉館
TEL/FAX 052-936-3836

※月曜休館・イベントの予定は変更になる場合があります。

「ステンド硝子アート&ステンドグラス作品展　～和モダン～」

新しい技法のステンド硝子アートとステンドグラスを展示します。光と色彩の美しさをご体感ください

■10月10日（土）～18日（日）　10:00～17:00
※10月13日（火）は休館日
■会場:1階集会室、2階和室1、2

文化のみち・ステンドグラス建築探訪ツアー

■10月18日（日）　10:30～　（当日1ツアーのみ）
■会場:文化のみち二葉館、文化のみち橦木館、カトリック主税町教会、市政資料館、陶磁器会館　■定員:先着25名
※申し込み方法・受付日:10月11日（日）10:00～12:00　文化のみち二葉館へ電話申し込み　※参加料金無料　当日は入館料無料

「歩こう!文化のみち」―ふたば茶屋の抹茶サービス―

■11月3日（火・祝）　、二葉館1階「ふたば茶屋」にて、先着100名様に抹茶を進呈します。
■午前11時より、受付にて呈茶券を配布。なくなり次第終了。
■会場:1階集会室

「都々逸」

名古屋生まれの江戸育ち「都々逸」や芸どころ名古屋の伝統芸能「熱田神戸節」の唄がたりです。

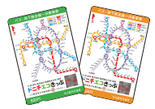
■11月3日（火・祝）　13:30～14:30　■会場:1階大広間

「季（とき）を刻み」

画家・柳瀬辰久氏の水墨画を展示します。

■11月11日（水）～
11月15日（日）
10:00～17:00
（最終日は15:00まで）
■会場:2階和室1、2

ドニチエコきっぷ・一日乗車券・メーグル1DAYチケットで入館料割引一般200円→160円



NEWSLETTER ふたば便り Vol.21　発行日 2015年7月25日

発行/文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】指定管理者　アクティオ株式会社
〒461-0014 名古屋市東区橦木町3-23
TEL&FAX　052-936-3836　http://www.futabakan.jp/

※この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。